

婦人科の紹介

婦人科 科長 新倉 仁

東北大学産科婦人科は3次医療機関として重症の患者様の管理にあたるとともに、大学機関として他院ではできない先進医療や高度精密検査法の施行・開発を行い、より安全で確実な医療、安心して受けられる医療の進歩に貢献すべく努力しております。今回は婦人科領域を紹介いたします。

外来診療は腫瘍外来、リプロ（生殖）外来、女性健康外来、女性漢方外来、内分泌外来、セカンドオピニオン外来を設置しております。内分泌外来では思春期月経異常、月経随伴症状、性分化異常、性同一性障害など、専門的な知識が必要とされる分野でありながら、症例数が少ないため精力的に取り組んでいる病院が少ない領域を重点的に取り扱っております。

婦人科腫瘍分野

年間200症例以上の婦人科悪性腫瘍に対して世界標準治療を導入した治療実績に加え、患者様の機能温存を重視しつつ十分な制がん効果を有する治療の展開に全力で取り組んでいます。具体的な取り組みとしては、

- ・子宮頸がんのセンチネルリンパ節生検を利用した縮小手術（図1、2）
- ・子宮体がんのセンチネルリンパ節生検に基づく根治術
- ・子宮頸がんの術中膀胱神経刺激を利用した排尿機能温存術式の展開
- ・子宮頸がんの妊孕能を温存した広汎子宮頸部切断術
- ・臨床治験、医師主導臨床試験の実施

など、世界標準の治療を提供しながら、よりよい治療を求めてこれまでにない新しい婦人科腫瘍の取り組みを展開しています。前述したような機能温存は初期の子宮頸がんが中心となりますが、初期子宮体癌に対しても腹腔鏡下手術やロボット支援手術により、さらなる低侵襲化に取り組んでいきます。それぞれの適応の詳細についてはあらためてご相談いただければ対応いたします。

生殖分野

一般不妊から高度生殖補助技術(体外受精、顕微授精など)まで多岐にわたり取り組んでいます。手術症例においては主に

手術前日に放射性同位元素、
手術中に青色の色素を子宮頸部
4か所に注入

手術中に同定できたSLN(平均2.8個)を
迅速病理診断

転移陰性ならリンパ節郭清は省略

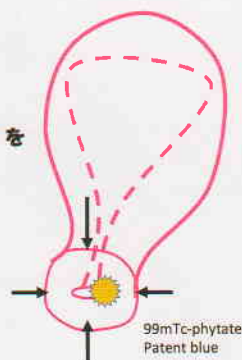


図1 子宮頸癌でのセンチネルリンパ節同定の手順



図2 同定されたセンチネルリンパ節(手術当日のシンチグラフィ)

不妊症例における鏡視下手術(腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術)に積極的に取り組んでおり、特に卵管性不妊に対する腹腔鏡併用による卵管鏡下卵管形成術のような宮城県内では当院でしか行えない高度医療に取り組んでいます。

排卵誘発時などの管理を適切に行えるように、ホルモン検査などは産婦人科内で施行しています。腹腔鏡、子宮鏡、卵管鏡など各設備が整っており様々な手術に対して対応可能です。病棟内には高度生殖補助技術を施行するためのARTユニットを有しております。

女性漢方分野

ストレスに満ちあふれた現代女性においては、更年期障害や月経前症候群をはじめとした、西洋医学だけでは改善しきれないような不定愁訴が増加しているように思われます。これに対して、「心身一如」心と体とを1つにとらえて診療する漢方治療は、このような症状改善に有効な場合を多々認めます。この外来では、漢方治療医学・西洋医学の両面から、両者のよい点を生かしたアプローチで、女性の皆様のつらい症状の改善を目指したいと考えております。

内分泌分野

主な対称疾患は思春期月経異常・月経随伴症状(原発性・続発性無月経、過多・過長月経、月経困難症など)、性分化異常(性腺形成異常、外生殖器異常など)、性同一性障害です。対象年齢が若く、性機能やこころの問題に関わる病態が多く、小児科、泌尿器科、精神科、心療内科と連携しながら治療を行っています。また、子宮奇形、造脛術など一般病院では対応が難しい症例に対しての治療も行っております。

当科の診療および東北大学産科学・婦人科学教室についてのさらに詳しい情報につきましては下記ホームページを是非ご覧ください。

<http://www.ob-gy.med.tohoku.ac.jp/>